

2017年4月28日
東京ガス株式会社

2017年3月期決算説明会
主なQ&A

- Q 1 : 2017年度業績見通しにガス小売全面自由化の影響をどのように織り込んでいるのか。
- A 1 : 昨年から公表されている卸販売の脱落に加え、小売全面自由化による家庭用の脱落および既に自由化範囲である大口分野の競争の激化が予想され、それぞれ一定程度織り込んでいる。
- Q 2 : 電力小売事業について、昨年度の評価と今後の見立てを教えてください。
- A 2 : 自由化1年目であった昨年度は、ライフバルを中心としたプッシュ型営業により、当初目標の40万件を大きく上回る72万8千件のお客さまに当社を選んでいただいた。2017年度の100万件は、容易に達成できる目標ではないが、着実に達成していきたい。
- Q 3 : 今後の諸経費の管理の考え方について教えてください。
- A 3 : 電力・ガス自由化など必要な分野に投入しつつも、他の分野を抑制するなど、一定レベルの範囲でやりくりをしていく。

以上